「関西理学療法」投稿ならびに執筆規定

論文の募集と採否

1　「原著」、「症例報告」を募集します。
「原著」は、科学的な観点からの研究で、オリジナリティーに富んだ論文を歓迎します。なお、査読の結果で原著論文の前段階と判断した場合は、「報告」として掲載する場合があります。
「症例報告」は、科学的な観点から客観的評価を加えた症例報告を歓迎します。

2　投稿ができるのは、症例報告では筆頭著者が会員であること、原著では共著者のうち1名以上が会員であることとする。また、著者が非会員であっても編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

3　投稿論文の採否は編集委員会で決定します。審査の結果、編集方針にしたがって原稿の加筆、削除、および一部分の書き直しをお願いすることがあります。また、不採用の論文は速やかに返却いたします。

執筆要項

1　論文の長さは下記のとおりとし、原稿枚数は文献、抄録を含んだ計算とします。
原　　著：400字詰原稿用紙25枚以内
症例報告：400字詰原稿用紙15枚以内
原著、症例報告ともに、図表は文字数に含めません。

2　原稿はパソコンまたはワープロでA4サイズの用紙で横書きとし、1行の文字数は40字、行数は20行としてください。全体的に現代仮名を使い、横書体とし、句読点は正確にお打ちください。なお、プリントアウトした原稿とともに、使用OS（WindowsまたはMacintoshなど）とソフト、ファイル名を明記したCD-ROMも同封してしていただく、もしくはファイルをメールに添付し、お送りください。その際、ファイルの容量を2 MB以内にしてください。もしファイルの容量が2 MBを超える場合は、分割してお送りください。

3　表題、著者名、所属は和英表記してください。必ず400ワード以内の英文抄録を添付し、5項目以内のキーワードを英語で指定してください。

4　数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m、cm、mm、mlなどとしてください。

5　図表には必ず表題と説明をつけてください。写真は白黒とし、カラー印刷は著者負担とします。図でトレースを要するものはトレース料を申し受けます。

6　文献は引用文献のみを記載し、引用順に配列してください。著者名あるいは編者名は、最初の1名のみを記載したのち、和文献の場合は「・他」、外国語文献の場合は、「et al.」としてください。

［雑誌の場合］
著者名：題名．雑誌名　巻数：最初の頁－最後の頁，発行年．
1) 大沼俊博・他：上腕骨顆上骨折後患者における筋電図評価と運動療法効果の検討．関西理学 1: 53–58, 2001.
2) Suzuki T, et al.: Characteristic appearance of the H-reflex and F-wave with increased stimulus intensity in patients with cerebrovascular disease. Electromyogr Clin Neurophysiol 42: 67–70, 2002.

［書籍の場合］
著者名：書名．引用頁数，出版社，発行年．
または
著者名：題名．編者名：書名．引用頁数，出版社，発行年．
1) 鈴木俊明・他：脳血管障害片麻痺に対する理学療法評価．p68, 神陵文庫，2004.
2) 鈴木俊明・他：The Center of the Body— 体幹機能の謎を探る—，第3版．pp34–37，アイペック，2008.

［インターネットの場合］
引用先．タイトル．URL（閲覧日）
1) 厚生労働省．平成25年国民生活基礎調査．https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa13/（2015年8月3日閲覧）

7　原稿は書留郵便で原稿、コピー3部、CD-ROMを同封し、下記に郵送してください。

8　利益相反の報告に関しては、関西理学療法学会が定める「利益相反の開示に関する基準」に従い、規定の書類を提出するとともに、その旨を論文の末尾に明記する。

個人情報保護について

個人情報を保護する見地から、症例報告を投稿される場合には以下に示す「関西理学療法学会　個人情報保護に関する指針（2005）」について遵守してください。
関西理学療法学会　個人情報保護に関する指針（2005，抜粋）

1　症例のプライバシーを最優先に考慮し、個人が特定されないように留意すること。

2　論文執筆や雑誌への投稿について、対象症例からの同意を得ること。

3　同一症例に関する複数の報告によって、疾患や障害の全体像が特定されることのないように注意すること。

4　患者個人を特定することが可能な氏名、イニシャルは記載しない。

5　患者の現住所は原則として記載しない。

6　日付の記載を要する場合には個人が特定できないことを条件に「年月」までの記載を認める。

7　診療科名をやむを得ず診療科名を記載する場合には、大まかな記載とする（第1外科→外科　など）。

8　他院での記載が不可欠な場合は、患者が特定できない範囲内において記載できる。

9　患者の顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合には、眼球のみとする。

10　患者を特定できる画像情報その他の検査所見に含まれる番号などは削除する。

11　以上のすべてについて配慮をしても個人が特定される可能性のある場合には、発表に関する同意書を患者自身（または家族もしくは代理人、中学生以下では保護者）から得るか、報告者が所属する機関の倫理委員会において承認を得ること。

その他の詳細については，学会ホームページ（http://www.enro.info/）をご参照ください。

原稿送り先

〒650-0026　兵庫県神戸市中央区古湊通1-2-2
神戸リハビリテーション衛生専門学校　理学療法学科
雑誌「関西理学療法」編集事務局
高橋優基

著作権と投稿承諾書

本誌掲載後、著作権は関西理学療法学会に帰属するものとし、本学会の承諾なしに他誌に掲載することを禁じます。
原著論文などの投稿に関しては、共著者全員が投稿に同意することを明示した本誌綴じ込みの投稿承諾書を添付してください（コピーも可）。

Presented by Medical*Online

投 稿 承 諾 書

下記の論文を「関西理学療法」に投稿いたします。なお、本論文は他誌に掲載済みのものではなく、掲載予定もありません。また、貴誌に掲載後、本論文の著作権は、関西理学療法学会に帰属することを承諾いたします。

論文タイトル：

筆頭著者：　氏名　　印

所属

共著者　：　氏名　　印

所属

氏名　　印

所属

氏名　　印

所属

氏名　　印

所属

年　　月　　日　　提出

Presented by Medical*Online